



Weekly Bulletin

The Magic of Rotary
ロータリーのマジック

国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

静岡ロータリークラブ ●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール プケトーカイ TEL.273-5225
●会長/川辺 哲 ●副会長/児玉 俊明 ●幹事/横山 泰久 ●副幹事/川崎 裕司

2024-2025

3月24日



第3731回例会

会員卓話『対話と想像力で生み出す「作曲」と「AI」の世界』



●ロータリーソング●



ソングリーダー
宮部 理香さん

●ゲスト紹介●

奨学生 ソリマン ゼヤドさん

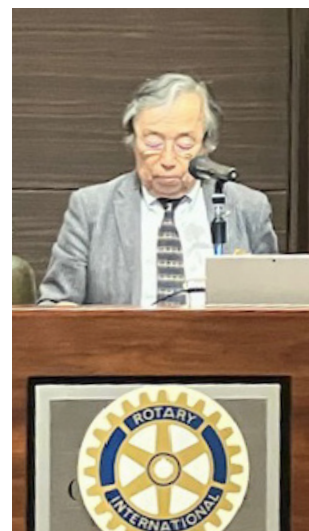
●会長挨拶●

会長 川辺 哲さん

今年度の夜間例会は、8月の通常例会、12月のクリスマス例会、新年例会、本日、そして6月30日の90周年記念例会の年間5回です。(お月見会は例会ではありません。) 本日は、年度替わりの直前なので、異動等、仕事のご都合で退会される方がいらっしゃる時期です。それで、ゆっくりごあいさつが出来るように夜間例会としております。残念ながら、今月末で、み

ずほ証券の山崎支店長、大興電子の相澤支店長が退会されます。後任の支店長様には入会をしていただけるものと期待しております。それと、米山記念奨学生のゼヤド君が、今治造船に就職が決まり、静岡を離れます。皆様の新任地での活躍を心よりお祈り申し上げます。3月16日に2620地区の米山奨学生の期間終了式に出席いたしました。今年は、26名の奨学生の内19名が卒業し、それぞれ、企業に就職する、大学院に進む、また母国へ戻る、ようございませう。終了式の最後に、奨学生の皆さんから、お礼の挨拶がありました。印象に残っているスピーチがありましたのでお伝えします。一つは、ロータリーの奨学金を得ることで人生観が変わった、という方が多くいたこと。奨学金を得るといふことは、必ずしも裕福な環境ではないのが通例だと思ふのですが、奨学金をもらうようになるまでは、学業とアルバイトに明け暮れる毎日で、ゆっくり考える暇もない訳ですが、月々の奨学金を得るようになることで、アルバイトから解放されて心身共に余裕が出来、ゆっくりものを考える時間が出来て、本を読んだり、自分のやりたい勉強したり、日本各地を旅行することで日本の文化に触れたりして、自分の将来や生きる意味を考えることができるようになって人生観が変わったと心から喜んでおられる奨学生が多数おられました。もうひとつ、確か県立大の学生だったと思ふますが、米山奨学生として日本の大学を卒業したあと、大学院は日本以外の国を考えていたのですが、2年間の米山奨学生としての生活を通じて、日本人と日本の文化の「やさしさ」に感銘を受け、大学院も日本に変更したという学生さんがいました。米山奨学金制度は、様々ある奨学金制度の中でも最も中身の濃い制度だと聞いておりますが、国際的に見ても価値のある制度であ

ると再認識した次第です。6月のゲスト卓話で、かつて米山奨学生として、名古屋のロータリークラブの支援を受け、その後、経済学者となり、中国経済について、論壇、テレビ、YouTube等で、重要な発言をしていらっしゃる中国人の「柯隆」先生にご登壇いただく予定です。(現在、多忙な中、静岡県立大学で学生の指導をしておられます。)多分、テレビでお顔を見たことがあると思ふます。楽しみにしててください。本日は、アメリカン・ポップスを聴いていただく日ですが、時間の関係で、懇親会の乾杯の後にいたします。尚、3月29日から4月1日まで、私と横山幹事は、浅原パストガバナー夫妻、望月国際奉仕委員長と一緒に、一昨年、姉妹クラブの提携を結んだタイのサートンRCと共催のグローバル補助金事業「病院用救急車の贈呈式」に出席するために、タイに行くことになり、次回の例会に出席出来ませう。昨年の平尾会長、望月委員長のように、ZOOMで例会に顔を出せるように、トライする予定です。それでは、今週も、エンジョイ・ミュージック、エンジョイ・ロータリーで、充実した一週間をお過ごし下さい。



●退会の挨拶●

みずほ証券(株)静岡支店長 山崎 大輔さん
誠に残念ですが、4月1付けの発令で静岡支店長の任を解かれ、新たな組織改編できる横浜連合店の副支店長で異動することとなりました。ロータリークラブは、ここが初めてで、どんなところかとドキドキしながら入会させていただ

きましたが、皆さんいろんなところでかわいがっていただきまして、弱いゴルフ・下手な麻雀、下手なボウリング、強いのはお酒だけというところでご迷惑をおかけすることが本当に多かったと思いますが、やさしく迎え入れていただき、もっとここにいたいと思わせていただいたというのが正直な気持ちです。次の支店も3店舗で3ヶ所のロータリークラブに入ったため、ロータリー活動は引き続き続けさせていただきますので、またお会いで来る日もあるかと思えます。今後ともよろしく願いいたします。お世話になりました。

大興電子通信(株)静岡支店長 相澤 次弘さん

昨年4月に入会させていただきました、まだ1年経ってない状況で退会となってしまうことはとても残念です。今回、九州に異動となりました。90周年を一緒にお祝いできないのが非常に無念ではありますが、川辺会長のお力もお借りして、九州でもロータリアンとして活動できればと思っています。入会してから短い間でしたが、皆様方には非常に温かくお迎えいただきまして、かつ、いろんな会に参加させていただいたことを誇りに思っております。皆様もお体に気を付けていただきながら、どこかでお会いできる機会を楽しみにしておりますので、まずは感謝の気持ちをお伝えしたくご挨拶の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

●委員会報告●

米山委員会 ソリマン ゼヤドさん

奨学生として最後の挨拶の時間をいただきありがとうございます。皆さん覚えてますでしょうか。二年前初めて自己紹介させていただきましたセヤドと申します。その時はこのように自己

紹介しました。「現在、東海大学海洋学部に所属し、現在は航海工学や水中ロボットについて学んでいます。将来は船の技術開発に貢献したいと考えています。私は常に新しいことにチャレンジしたいと思い、ロータリークラブの活動にも積極的に取り組んでいきたいです。言葉の壁や文化の違いはありますが、皆さまとの交流を深め積極的がんばります。どうぞよろしく願います。」その時は大変緊張しました。それは変わらず、今も緊張しています。あれからこの二年間でさまざまなことが変わりました。当時例会に参加した私は、自分に自信がなく不安を抱えていました。しかし、毎週の例会で毎回違うテーブルに座って皆さまと交流して、それぞれの価値観に触れたことは大きな財産・人生の宝物となりました。昨日、東海大学も卒業し、6年間の留学生活も無事終了しました。皆さまにお見せしたく、卒業証書を持ってきました。本当に皆さまのおかげでここまでこれたと思っております。辛いことももちろんありましたが、皆さまにお世話になったことで経済的にも精神的にも安定して、いろいろなことに挑戦できました。本当に人生が変わりました。例会以外にも、お食事に行ったり、ボウリングしたりと多くの思い出もあります。またお話を聞いてもらったりと身近に感じていただけたことはうれしく思っています。例会に参加している皆さまは、家族のような存在です。望月さんに、「社会に貢献できる人材になることを期待している。」と言われました。私は、明日から造船会社に就職して、船の設計をしまいいりますが、皆さまに誇れるよう頑張っ参ります。社会に貢献できるよう皆さまのように心に余裕を持った人になってから、また皆さまにお会いできると信じています。2年間ご指導誠にありがとうございます。

国際奉仕委員会

今年度は、バンコクのサトゥンロータリークラブとグローバル補助金を使い、コンケン病院に救急車を贈呈する事業を行っています。セレモニーは応募多数だが人数制限があるため、四名で参加します。(3月29日～4月1日)これは香港、韓国、台湾、タイ、日本の5カ国の共同事業ですので、最強の布陣で戦ってきますので応援をお願いします。また、土産話を楽しみにしててください。

●幹事報告●

募集中案内：ガバナーゴルフ、川奈のゴルフ、大阪万博 家族親睦旅行 次週例会は、川辺会長、横山幹事、川崎副幹事長は欠席

●おめでとう●

【誕生祝い】

- 月●●日 牧田 晃子さん
- 月●●日 久保田 隆さん
- 月●●日 和田 直哉さん

【結婚記念日】

- 月●●日 小林 武治さん・紀子さん
- 月●●日 富井 一矢さん・文生さん
- 月●●日 植松 昌美さん・和子さん

●スマイル●

神谷 真太郎さん

ジャドが2年間お世話になりました。彼の夢が実現していくのをこれからもみなさんと共に見守っていきたいと思います。

山崎 大輔さん

この度、転勤に伴い退会をさせていただくこととなりました。初めて入会した静岡ロータリークラブでの活躍を通じて、多くの素晴らしい出会いや学びがありました。ゴルフも麻雀も下手

でしたけど。皆様の温かいお心のおかげで毎回楽しませてもらえました。横浜支店でも何処かのロータリークラブに入会する予定ですので、またお会いできることを楽しみにしています。お世話になりました。

相澤 次弘さん

この度、九州に異動となりました。入会させていただき1年足らずですが、皆様にあたたかく迎えていただき感謝の念にたえません。本当にありがとうございました。

三浦 孝文さん

先日は亡き母の葬儀に際しまして、多数の格別なるご厚情を賜りましてありがとうございました。●●歳にして、最後まで伏せることなく自宅で過ごし、天寿を全う致しました。ご支援を賜りました皆様に感謝申し上げます。

川辺 哲さん

来る5月21日に、呉服町の「札の辻クロスホール」主催のバイオリンのコンサートがあります。演奏者は、かつて「タイブンキョウ (体育文化協会)」の佐野務さんが、熱心に静岡に招聘していた大谷康子さんです。今も、テレビに頻繁に出演しています。名器「ストラディヴァリウス」で弾きます。昼の部と夜の部で内容が違います。チラシをボックスに入れさせて頂きました。ぜひご来場されて、華麗な音色をお楽しみください。

興梠 一喜さん

先日は結婚記念日の素敵なお花をありがとうございました。帰省した際、玄関に飾ってあり、福岡まで送ってくれるのだと感激しました。来年も頂けますよう、夫婦共々ががんばって参ります。

小林 武治さん

阪神大震災から30年。あれからいろいろありました。地下鉄サリン事件から30年。あれか

らいろいろありました。野茂英雄がメジャーで新人王から30年。あれからいろいろありました。私たちの結婚から●●年。あれからいろいろありました。記念日に素敵なお花をありがとうございました。

富井 一矢さん

結婚記念日のお花ありがとうございました。●●回目の結婚記念日にロータリークラブからのきれいなお花が届き、妻は大喜び！僕の用意したサプライズもかすんでしまいました。

植松 昌美さん

●月●●日の結婚記念日にすてきなお花ありがとうございました。又、娘が小川先生の日赤病院で、「里帰り出産」で男の子を出産しました。小川先生ありがとうございました。

牧田 晃子さん

誕生祝いありがとうございます。●●才になりました！

満席テーブル

3番テーブル、12番テーブル、14番テーブル

松本 博士さん

先日の例会において、杉浦哲さん、松野正三さんと御名前を間違えて、例会時間を引き延ばしゲスト卓話も、学生支援センター宇賀田栄次様の卓話を遅らせてしまいました。どうもすいませんでした。反省の意味を込めて超大口させていただきました。

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数 [※])	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
3/24	110名(000名)	67名	43名	60.91%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

●会員卓話●

株式会社ままよる 代表取締役

神谷 真太郎さん

『対話と想像力で生み出す「作曲」と「AI」の世界』



①作曲家としての僕について
「人生のレコード」という個人向けの作曲。「あなたの名前のレコードをかけたとき、そこ

からどんな音楽が流れますか？」がキャッチフレーズで、まずお客様の生まれてから今までの人生の全てを時間をかけておうかがいします。長い方では半年以上じっくりじっくりと、その時の感情や情景を事細かに聞かせていただきます。その結果、出来上がる曲のクオリティはもちろん、それ以上に一緒に人生を振り返る時間をとても大切にしています。私も、その方の人生を振り返ることで勉強させていただいていますので、この人生の対話というものはとても価値のあるもので、一本の映画のように感じています。お聞きした人生を曲にしていく時は、想像力が大切になります。想像力の土台になるのは感性です。お客様に事細かに人生をお伺いするのは、その時の感情や情景を、私の中でリアルに再現するためです。私の中で鮮明に感じなおす技術が、人生のレコードという曲作りにおいて非常に重要になります。なので、普段からできるだけ多くの感性をインプットして、さまざまな感情を再現できる下地を作っておくことを普段から意識しています。それは、経験したことのないことはすすんでやってみるし、人に勧められたことも素直にやるよう心がけています。実際に曲を作る時は、対話以外にも当時の写真を実際にいただいたり、ご家族にも話を聞いたりして曲のヒントにしています。その他の

作曲としては、飛行機の搭乗口からずっとかかっている曲「ゴーイングミュージック」も作っています。航空会社それぞれ独自の曲を流しているのですが、ご縁があって静岡空港のプライベートジェット会社「フジビジネスジェット」のゴーイングミュージカルは、私が書かせていただいています。大谷選手が来日した際、もしかしたら聴いてもらえたのかもしれない。

②AIとIT

AIとは、チャットGPTと各種ITツールです。これらを使って効率化や社内リミックスを実現していくこと、またその設定をすることが私の普段の業務です。今日はデモンストレーションを交えながら二つほど紹介したいと思います。一つ目の事例：Zoomのレコーディングを企業と自動で紐づけて保存して、内容の要約もしてほしいという要望がありました。まず、要望に対して大切になるのは、チャットGPTとの対話です。実際にチャットGPTに1回目の対話をする、「こんなツールを使って、こうやればできますよ」という回答です。次に、弊社は基幹システムがキントーンなので、キントーンをベースにほしいとチャットGPTに伝えると、やり方を提案してくれます。このように、チャットGPTとの対話を繰り返して、いろんな業務の効率化が実相できます。これを繰り返した結果、各ITツールの強みや弱みを熟知することとなりました。その結果、理想のかたちを私にお伝えいただくことで、私の創造力で実現し、足りないところはさらにチャットGPTにアドバイスもらうことで構築を進めています。先程紹介しましたzoom自動格納と自動要約も無事組むことができました。商談ミーティングが終わりますと、レコーディングの動画や要約がなにもしなくても、企業ごとにキントーンに効率よく管理されます。二つ目の

事例：特化型AI。特定の知識をあらかじめAIに読み込ませておくことによって、それを基に回答してくれるAIです。特化型AIとITツールを組み合わせたものをご紹介します。今回、静岡ロータリークラブの年間スケジュールを読み込ませたAIと他のAIを3つをここに設置しています。それは、1つのAIにいろんなジャンルの知識を詰め込みより、特化したAIを別々に配置するほうが効率的です。そのため、質問も内容がどこの特化したものかを判断するAIを手前に置くことで、質問の内容に特化したAIの元に質問が届くようになります。例えば、自社のマニュアルやQ&AをマスターしたAIを開発することで新入社員教育に使用したり、カスタマー対応の事業化に使用したりでき、また、弊社では、就業規則系のデータを読み込んだAIを作成しているので、従業員が就業規則系の質問をすれば答えてくれるようになっています。というように、AIという組み合わせると何でもできてしまうという時代なんですけど、まだ、人間から何らかの指示が必要となる段階です。AIがゼロから考えてくれるようになるには、あと数年くらいかかりそうです。人間にできることは創造するということです。創造したことはチャットGPTに聞けば実現してくれる。なので、こうなったらいいなど創造できたら、実現できる時代です。また、ご興味ありましたら、お問い合わせください。

●社会奉仕BOX●

本日の社会奉仕BOXは、12,600円

○次週

令和7年3月31日(月)は、通常例会となります。静岡倶楽部の科学研究奨励賞(担当:青年奉仕委員会)